

みどり
水土里ネット牧之原

牧之原 だより

第 42 号

平成28年8月1日

発行

牧之原畑地総合整備土地改良区

〒427-0047 島田市中溝町1726-4

☎ <0547> 36-8000(代)

FAX <0547> 36-0830

HP <http://midorinet-makinohara.com>



目次

• 理事長挨拶／総代会報告	2
• 理事長表彰及び県土連表彰	3
• 平成26年度決算及び28年度予算	4
• 茶イルドスクール／組合長会議	5
• 西関東土地改良調査管理事務所長挨拶／進捗状況	6
• 県志太榛原農林事務所長挨拶／多面的機能支払制度	7
• 農地転用及び資格得喪の手続き／事務局のお知らせ	8





理事長あいさつ

牧之原畑地総合整備土地改良区
理事長 伊藤 壽一

組合員の皆さま、並びに国、県、関係市各位には日頃より本改良区の事業推進、及び運営に対しましてご理解、ご支援を賜り深く感謝申し上げます。

4月、熊本県地方を中心に震度7の大地震が2度も発生しました。この地震により貴重な生命が失われたり怪我をされた方々、また、数多くの住宅の全半壊や土地改良施設への甚大な被害を受けた方々へお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復旧、復興を願うところであります。

さて、本年産の一番茶は、適度な降雨や気温が暖かく推移したこと、また、目立った凍霜害もなかったことから順調に生育し、高品質な内容のお茶が生産されました。

一方、お茶の価格は、贈答茶の需要が回復せず、上級品の相場下落が早かったが、普及価格帯では、底堅い展開となり、荒茶1キロ当たりの平均価格は前年を上回った結果でした。しかし、品質に少しでも難のあるお茶や、安定した買い手がなかった茶工場は、厳しく、生産者間での格差が拡大するなど依然として厳しい状況が続いています。

農林水産省が発表した2015年全国荒茶生産量は、50年ぶりに8万トンを割ったそうです。原因に近年の茶価低迷が影響しているようです。

急須で入れて飲む「リーフ茶」の消費不振が続く茶業界にとって厳しい現実ですが、光明もさしています。15年緑茶輸出は初めて100億円の大台に乗ったとの報道がありました。TPPは農産物の輸出にメリットが出ると言われています。輸出拡大にハードルはいくつもあるでしょうがチャンスはあるはずです。今後、一層の輸出拡大が図られることを期待するところであります。

ところで、当改良区は、平成9年度に国営事業、平成25年度には県営事業が完了し、改良区の事業は施設整備から施設の維持管理が主体となってきていることから、総代の役割も変化してきました。

そこで、平成29年度予定されています総代選挙に向けて、理事会から諮問を受けた運営協議会では、総代定数及び選出方法の見直しを行っています。

今後、答申書として纏められ、理事会等の審議を経て、平成29年3月開催予定の総代会において定款変更議案の審議を予定していますのでよろしくお願い申し上げます。

結びに、関係の皆さまには、今後とも牧之原地区の茶業をはじめとする農産物安定生産のために更なるご支援、ご協力をお願い申し上げ、ご挨拶と致します。

平成27年度 通常総代会報告 ～全議案とも原案どおり可決～

平成27年度通常総代会は、平成28年3月23日(水)に島田市金谷夢づくり会館において開催されました。

会議は午前9時30分より大関副理事長の開会の挨拶で始まり、伊藤理事長からの挨拶の後に理事長表彰を行いました。続いて当日ご臨席をいただいた来賓の方々から祝辞が述べられ議事に入りました。

議事は、議長に島田市の杉山芳彦総代が選出され、承認案件の平成26年度決算関係及び平成27年度補正関係の17件と議決案件の平成28年度予算関係を含む10件が上程され、全議案ともすべて原案どおり可決決定し、染谷副理事長より閉会の挨拶をもって滞りなく終了しました。

総代会提出議案

承認第1号～7号	平成26年度 事業報告書及び一般並びに特別会計収支決算書等
承認第8号～16号	平成27年度 一般及び特別会計の補正(第1次～3次) 予算関係
承認第17号	農地転用決済金単価の改正について
第1号議案	規約及び役員選挙規程の一部改正について
第2～5号議案	平成28年度 一般及び特別会計収支予算について
第6号議案	平成28年度 賦課金の徴収時期及び方法について
第7号議案	平成28年度 取引金融機関について
第8号議案	平成28年度 借入金について
第9号議案	用水施設使用料金の管理賦課金への移行について
第10号議案	附帯決議



👉 管理賦課金が始まります！

通常総代会において、土地改良区により安定した運営を図るため、これまでの用水施設使用料金に変わり、**平成29年4月より**管理賦課金へ移行することが決定しました。

費用負担の公平性を考慮し、面積割等による賦課金への変更となりますので、ご理解をお願いします。また、用水組合長の皆様におきましては、組合費の改正等、管理賦課金への準備をお願いします。



平成27年度 土地改良区理事長表彰

平成27年度通常総代会において、土地改良区表彰規程に基づき、10年以上にわたり土地改良区の運営にご尽力された役員、総代、又15年以上水利施設の適切な維持管理に努め、その運営が他の模範となる組合に対して、その功績を称え理事長表彰が行われました。

◆役員表彰 9名 (順不同)

- ・大関 住男副理事 (牧之原市)
- ・鈴木 啓允理事 (島田市)
- ・加藤 祥司理事 (牧之原市)
- ・中村 豊理事 (牧之原市)
- ・齋能 守次席監事 (菊川市)
- ・山本 衛理事 (島田市)
- ・西原 茂樹理事 (牧之原市)
- ・本杉 光雄理事 (牧之原市)
- ・石原 茂雄総括監事 (御前崎市)



大関 住男氏 (理事代表)



石原 茂雄氏 (監事代表)

◆総代表彰 14名 (順不同)

- ・岡村 一廣 (島田市)
- ・増田 昇 (島田市)
- ・高塚 初文 (牧之原市)
- ・小関 誠 (牧之原市)
- ・河原崎 富雄 (御前崎市)
- ・数原 登 (島田市)
- ・山本 登 (島田市)
- ・西原 忠 (牧之原市)
- ・竹内 衛 (牧之原市)
- ・福代 俊夫 (御前崎市)
- ・西山 浩一 (島田市)
- ・紅林 勲 (牧之原市)
- ・増田 恒 (牧之原市)
- ・狩野 年夫 (御前崎市)



小関 誠氏 (総代代表)

◆組合表彰 23組合

- ・切中畑地用水組合 (牧之原市)
- ・最明寺畑地用水組合 (牧之原市)
- ・朝生原畑地用水組合 (牧之原市)
- ・道場原畑地用水組合 (牧之原市)
- ・丸倉畑地用水組合 (牧之原市)
- ・蛭ヶ谷畑地用水組合 (牧之原市)
- ・沢水加13工区畑地用水組合 (菊川市)
- ・牧之原上畑地用水組合 (菊川市)
- ・菊川29工区-1畑地用水組合 (菊川市)
- ・横地35工区畑地用水組合 (菊川市)
- ・小笠5ブロック畑地用水組合 (菊川市)
- ・王城坊畑地用水組合 (御前崎市)
- ・荒谷畑地用水組合 (牧之原市)
- ・25畑地用水組合 (牧之原市)
- ・戸塚原畑地用水組合 (牧之原市)
- ・大沢畑地用水組合 (牧之原市)
- ・金山畑地用水組合 (牧之原市)
- ・新庄畑地用水組合 (牧之原市)
- ・菊川16-1畑地用水組合 (菊川市)
- ・小沢畑地用水組合 (菊川市)
- ・菊川29工区-2畑地用水組合 (菊川市)
- ・小笠3-2ブロック畑地用水組合 (菊川市)
- ・小笠10ブロック畑地用水組合 (菊川市)



横地35工区 (組合代表)



組合表彰された方々

平成27年度 県土地改良事業団体連合会 功労者表彰

去る3月24日(木)ホテルセンチュリー静岡 (静岡市)において、第59回通常総会並びに土地改良功労者表彰式が開催されました。

この表彰式では、当土地改良区から4名の方々が功労者表彰を受賞されました。

この受賞は、多年にわたり土地改良事業への貢献が評価されたものです。

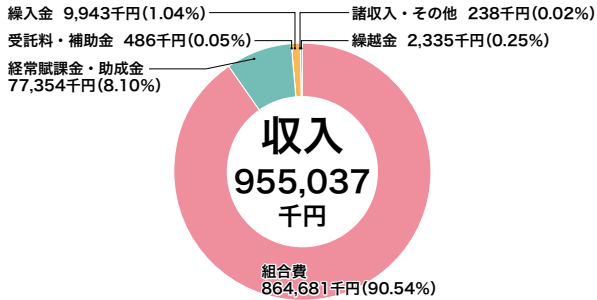
引き続き土地改良区の運営等にご尽力を願うところです。

〈受賞者〉・大関 住男副理事長 ・加藤 祥司理事 ・中村 豊理事 ・齋能 守次席監事

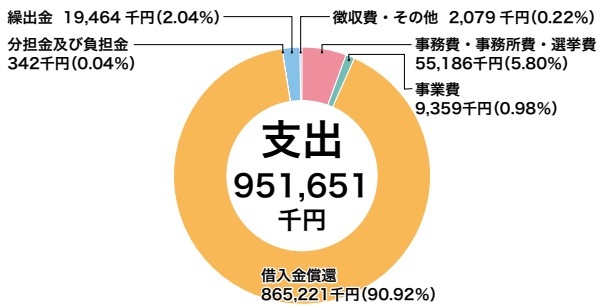


平成26年度 一般会計決算

収入



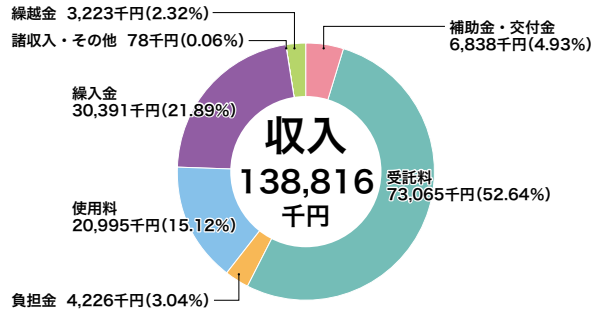
支出



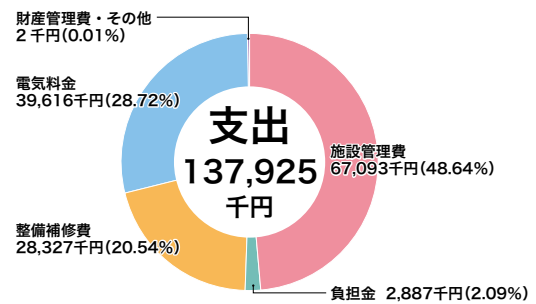
収入総額 955,037千円
 支出総額 951,651千円
 差引残額 3,386千円 (次年度へ繰越)

平成26年度 管理費特別会計決算

収入



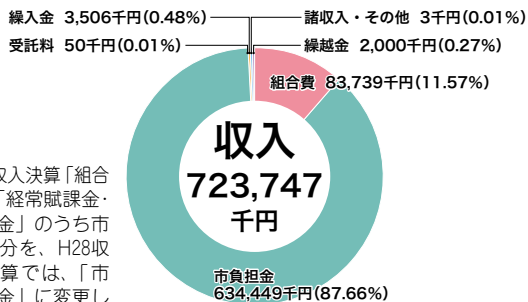
支出



収入総額 138,816千円
 支出総額 137,925千円
 差引残額 891千円 (次年度へ繰越)

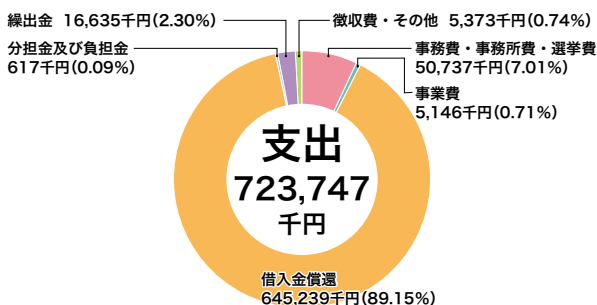
平成28年度 一般会計予算

収入



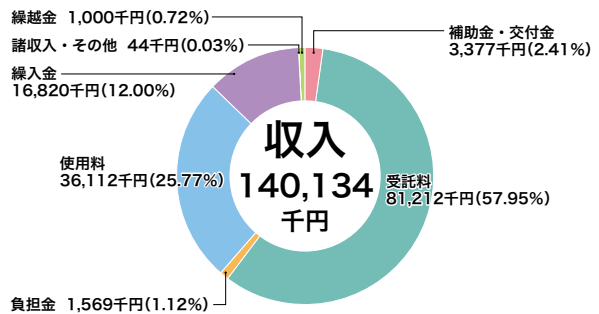
※H26収入決算「組合費」「経常賦課金・助成金」のうち市負担分を、H28収入予算では、「市負担金」に変更しました。

支出

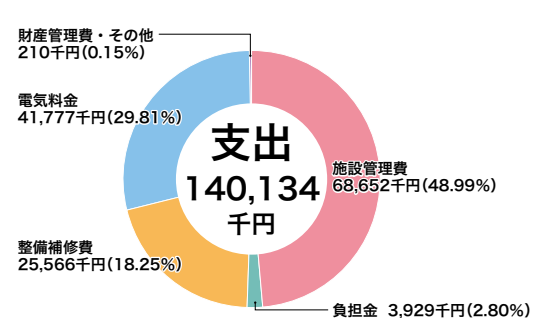


平成28年度 管理費特別会計予算

収入



支出



出前授業 (牧之原・茶イルド・スクール)



今年で9年目を迎える出前授業『茶イルドスクール』は、静岡県志太榛原農林事務所や中遠農林事務所、昨年から牧之原市と協力し、管内（島田市・掛川市・牧之原市・菊川市・御前崎市）の小学校を対象に、行っています。

出前授業として、牧之原台地の茶園に隣接する小学校の子供たちを対象に、「お茶の効能や農業用水の大切さ、土地改良施設の役割、農業の尊さを伝えながら将来にわたり牧之原の大茶園を守り育てる意義や大切さ」を学んでもらうことを目的として行っています。

お茶の歴史をおりませたクイズや牧之原農業用水の役割など紙芝居などを使って楽しく学習してもらいました。

また、学校近くにスプリンクラーや給水栓の土地改良施設が設置されているところは、茶園所有者の方にもご協力をいただき、現地での施設見学や散水体験も行うことができます。

～出前授業ではこんなことを～

- ★牧之原農業用水の役割
- ★お茶に関するクイズ
- ★給水栓・スプリンクラーの施設見学（学校の近くなら）



平成27年度は、島田市の初倉小学校他11校で実施しました。

子供達から感想文もいただき励みになりました。



平成27年度畑地用水組合長会議

平成27年11月5日～12月7日にかけて、関係市の担当課のご協力をいただき、7会場にて畑地用水組合の組合長、組合役員、総代、理事さんを対象に畑地用水組合長会議を開催いたしました。会議には、関係市の担当者の方にもご出席いただきました。

この会議は、畑地用水組合にて適切な維持管理をしていただいている中、組合役員の皆様へ維持管理にかかる補助事業等の紹介、情報提供を行うことや、当改良区と組合との連携を継続的に保持していくための目的で行うものです。



～会議の内容はこんなことを～

- (1) 用水施設使用料金の「管理賦課金」への移行について
- (2) 用水組合ごと管理賦課金（試算額）について
- (3) 畑地用水施設の改築・追加工事及び他目的使用について
- (4) その他
 - ・水土里ネット牧之原携帯メール配信サービスについて

上記の、議題をプロジェクターを使用し、説明いたしました。尚、今年度も組合長会議を開催予定しています。



ごあいさつ

関東農政局 西関東土地改良調査管理事務所
所長 菊池由則

国営造成施設整備事業「牧之原地区」の実施に当たっては、日頃より皆様大変お世話になっております。昨年度までに、「水管理システム」、「牧之原揚水機場の電気設備」、「調整水槽のディスクバルブの更新」、「川口取水工の電気設備改修工事（共同工事）」、「導水路トンネルの補修工事」、「調整水槽の緊急遮断弁整備」等の工事が完了し、進捗率は約71%と平成30年度の完了に向けて順調に進捗しており、感謝申し上げます。

また、今年度は、予算1億6千万円で、牧之原揚水機場1号電動機他整備工事、金谷吐水槽整備工事（開閉装置・操作盤）、調整水槽（7施設）のバルブ設備整備工事及び幹線用水路のマクロセル腐食対策工事を予定しています。

さて、当地区の主要作物である茶については、近年の荒茶価格の低迷等により、農家の皆様の経営環境が厳しい状況と承知しております。

一方、そのような中でも、高品質の茶が安定した価格で取引されていることを踏まえた高品質化の取組や、輸出拡大などの新たな国内外の需要拡大に向けた取組が行われているところです。農林水産省では、こうした取組を加速・促進するため、平成28年度予算において、産地の戦略に基づく茶園の改植や整理等による生産体制の強化、輸出拡大、新需要開拓等に向けた茶の生産・加工技術の導入、コスト低減に資する生産・加工機械のリース導入等を支援しております。

今後とも、西関東土地改良調査管理事務所として、国営事業を着実に実施するとともに、農林水産省の施策情報の提供、地域活性化の取組等への支援などを行っていきたくと考えております。引き続き、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

国営造成土地改良施設整備事業

～ 特別監視制度適用「牧之原地区」～

国営造成土地改良施設整備事業（特別監視制度）は、国が造成した基幹の水利施設等のうち機能低下が顕著な施設を対象に補修・補強などの対策工事を適時実施することにより、施設機能の維持及び維持管理の軽減を図るものです。

◆事業の進捗状況

総事業費：1,763百万円
工期：平成23～30年
進捗率：71.4%（平成27年度まで）

◆平成28年度の事業予算と工事計画

平成28年度事業費：160百万円
〔その他、上・工水からの受託費 なし〕

◆平成28年度の主要工事予定

- ・牧之原揚水機場1号電動機他整備工事（1号電動機他1式）
- ・金谷吐水槽整備工事（開閉装置・操作盤1式）
- ・阪本調整水槽他バルブ設備整備工事（調整水槽7施設）
- ・幹線水路防食工事（中央幹線、他）

国営造成土地改良施設整備事業牧之原地区の工事状況について

平成27年度は、2号導水路内の工事を行いました。普段は充水されていて見る事の出来ない場所です。トンネル内の目地部から漏水があり、トンネル壁面に穴を開けた後、背面に目地止水剤を注入して止水しました。壁面の穴は、止水コマをねじ込んで止水してあります。

平成28年度は、昨年度に引き続き、電動機、開閉装置、バルブ等の整備を主体に工事を進めて参ります。



トンネル目地部の止水



電動機他整備



バルブ等の整備



ごあいさつ

静岡県志太榛原農林事務所
所長 黒柳康江

日頃より組合員並びに関係の皆様方におかれましては、農業農村整備事業の推進に御支援や御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年は、春先の気象も安定し、茶の品質も全体的に高い評価を受けました。そのおかげもあってか、一番茶シーズンの荒茶の平均単価は昨年をわずかながら上回りました。しかし一方で、安定した販路を持つ生産者とそうでない生産者との間で売れ行きや価格に格差が生じているとも聞いております。

茶業を取り巻く環境は、依然として厳しい状況が続いておりますが、抹茶や被覆茶など消費者の多様なニーズに応えるため、生産、加工、販売の柔軟な対応を促すとともに、生産力の強化を図るため、農地中間管理事業を活用した農地集積と担い手農家の意向に沿ったきめ細かな基盤整備を効率的に進めることで、新たな茶業の展開が図られるものと考えております。

当事務所管内では、乗用型茶園管理機の導入を可能とする平坦で効率的な茶園への転換を目指し、現在、島田市の西原地区、牧之原市の榛原地区、相良地区において基盤整備事業を実施しております。今後も関係市との連携により地域の担い手と調整を図りながら、更なる基盤整備の実現に向けた取組を加速化してまいります。

また、県では、担い手に集中する農地や農業用施設の維持管理作業を地域活動として行う組織を支援する「ふじのくに美農里プロジェクト（多面的機能支払交付金事業）」の取組拡大を進めております。これまで県内では水田地域を中心として本取組が展開されてまいりましたが、この牧之原の茶園地域においても担い手への集積を進めると同時に、これまで畑地帯総合整備事業等で整備した畑地かんがい施設をはじめとする農業用施設等を地域自らが主体的に守っていく体制を構築していく必要があります。当事務所としましては、この事業制度を有意義に活用していただけるよう、地域に対し丁寧な説明を行い、より一層の普及を図ってまいります。

ここ牧之原台地は、昔も今も世界に誇る大茶産地であります。意欲ある担い手が自信と誇りを抱いて生産に励むことができる活力ある牧之原地域を次世代に継承するため、関係する行政機関や土地改良区の皆様方と一丸となって、産地の強化に取り組んでまいりますので、これまで以上の御支援と御協力をお願い申し上げます。

牧之原地区でも維持管理費の軽減に活用されています。

～多面的機能支払交付金～

近年の農村地域は、高齢化、過疎化等の進行に伴い、集落機能が低下し、地域の活動に支障が生じつつあります。また、農用地、水路等の地域資源の保全管理に対する農業者の負担増加も懸念されている状況です。

このため、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域活動に支援を行うことを目的に、この交付金が制度化されました。（農業者のみの組織でも対象となります。）

この交付金は、施設の補修や更新の他に耕作放棄地対策にも活用でき、平成28年度からは、金谷地区、掛川地区、御前崎地区等で新たに組織が活動を始めています。

【牧之原地区内での活動事例】



FP清掃



草刈り



施設の補修



パイプラインの修理

《交付金単価》畑の場合

- (1)農地維持支払交付金 2,000円/10a
- (2)資源向上支払交付金
- (共同活動) 1,440円/10a
- (施設長寿命化) 2,000円/10a

※お問い合わせは、
県志太榛原農林事務所 農村整備課 (TEL:054-644-9123) または、
県中遠農林事務所 農村整備課 (TEL:0538-37-2290) までお願いします。

農地転用・組合員得喪資格の変更には手続きが必要！

農地転用するときに必要な提出書類

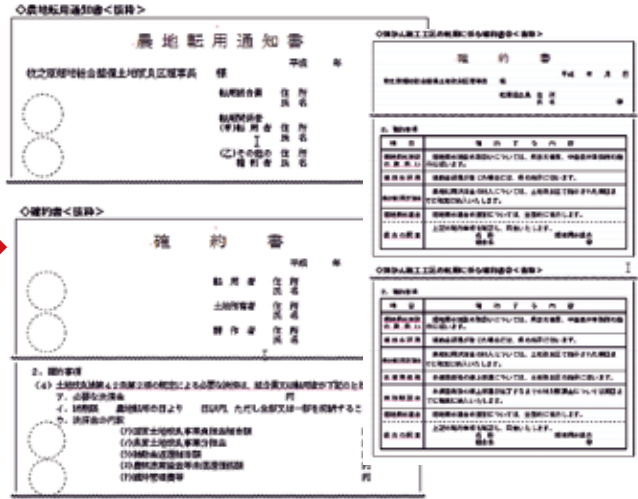
下記の場合に提出書類が、必要となります。



- 1 宅地や店舗等に転用する場合
- 2 公共用地（道路等）に転用する場合

【提出書類】

- 1 農地転用通知書
- 2 確約書
- 3 資格得喪通知書



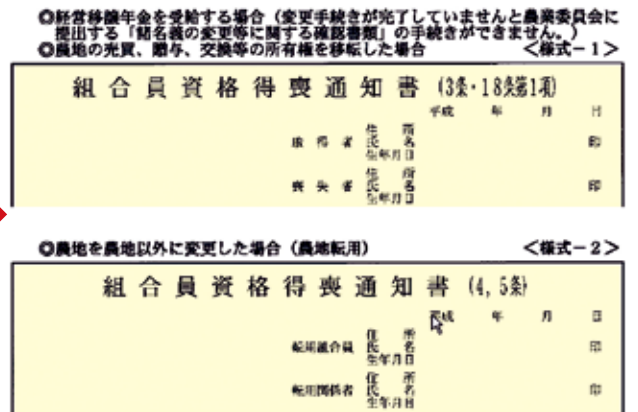
組合員資格得喪通知の提出が必要な場合



- 1 農地の売買、贈与、交換など所有権を移転したとき



- 2 農地を農地以外に変更するとき
- 3 経営移譲年金受給するとき



事務局からのお知らせ

平成29年度 第40回 全国土地改良大会 静岡大会開催決定

毎年、行われている全国土地改良大会が29年度は、静岡県沼津市で10月25日(水)より開催が決定しています。ちなみに今年度は、10月25日(水)より石川県金沢市で開催されます。

年に1度開催となり、静岡大会は初めての開催となります。

この大会は、農業農村整備に携わる全国の関係者が一堂に会し、「農業、農村の重要性」とその役割を、広く全国民にアピールする場でもあり、新たな農業の展開と発展を目的として開催しているものです。

新規職員紹介 (平成28年4月1日付採用)



今年の4月に新規職員として採用しました和田直也です。

3月に大学を卒業して間もない訳ですが、今後の管理職課金移行に向けて万全を期すことに期待をしています。

〈本人のコメント〉

初めて経験することばかりですが、任された仕事に責任を持ち、1日でも早く覚えられるよう努力していきますので、よろしくお願いいたします。